



所要時間：90分

シナリオの公開：OK

シフターの作成：必須

推奨する関係性：共通の友人がいる（シナリオ参照）

異界の発生原因：数百年に及ぶ魔女への畏怖

誰も踏み込んだことのない場所へ

このシナリオでは、まだ誰も帰還した記録のない異界深度まで潜ることになります。

通常のシナリオより困難な状況が待ち受けているため、キャラクターのロストや、なんとか帰ってこられたとしても、変異が多く残る可能性が高めになります。

あらすじ（プレイヤー向け）

このシナリオでは、バインダーとシフターは都市部より遠く離れた田舎の村を訪れます。

目的は、音信不通になった友人の消息を追うことです。

友人が最後に訪れたのは、森の近くにある小屋でした。

地元住民は口をそろえて森に近づいてはいけない、あそこには悪魔を使役する恐ろしい魔女がいると警告します。

小屋に友人の姿はなく、未知の材質で作られたカンテラと殴り書きのメモ、そして異界について書かれた本が見つかりました。

それに触れたシフターが、「行かなくちゃ」と歩き出します。

カンテラを魔女に返さなくては、たいへんなことが起きてしまうと言うのです。

ふたりは、友人が取り込まれた異界へ迷い込んでいたのです。

何度も響く異音、樹木に刻まれた謎の刻印や自分たちを付け回す謎の気配……人の理の通じない魔女の森の最深部へと、ふたりは潜っていくことになります。

友人について

友人はノンプレイヤーキャラクターであり、その設定やふたりとの関係性は、自由に決めることができます。

ひとつ変えられないことは、友人はシフターであり、ひとりで異界に呼ばれてしまったということです。

そして、シフターはひとりでは異界から帰ってこられません。

ふたりが異界のルールを捻じ曲げてでも友人の救出を望むのなら、自分たちを犠牲にする覚悟が必要です。